

酒田交流おもてなし市民会議設立総会が開催されました

2月23日（木）、酒田市の東北公益文科大学公益ホールで酒田交流おもてなし市民会議設立総会が開催されました。

この会議は、丸山至酒田市長が発起人となり、国内外のクルーズ船の寄港などで酒田市を訪れる観光客を市民挙げてもてなすとともに、国内外の都市との交流を通じて、酒田市の交流人口の拡大を図るために設立されたものです。

会議の初めに、丸山市長が「市全体で酒田市を訪れる方をおもてなしする風土、交流都市酒田をつくりたい。」と挨拶し、後藤仁酒田市議会議長、弦巻伸酒田商工会議所会頭が祝辞を述べました。

その後、総会参加者により市民会議の規約が承認され、酒田交流おもてなし市民会議が発足することになりました。

総会閉会后、当事務所の上原所長が『クルーズ船寄港による地域の活性化～コスタネオロマンチカ初寄港に向けて～』と題し、今年8月2日に寄港するコスタネオロマンチカの受入などの情報提供を行いました。その後、後藤光正アトラク東北株式会社代表取締役が『「観光づくりは人づくり」～地域ガイドが地域力向上のカギ～』と題した特別講演を行いました。



市民会議の意義を語る丸山市長



市民会議の会長となった丸山市長（中央）、副会長の弦巻酒田商工会議所会頭（右）、顧問の後藤市議会議長（左）



情報提供を行う上原所長



特別講演の様子

